

メディア教育部会 研究の成果

三観地区中学校教育研究会メディア教育部会

1 研究主題

自ら学び，自ら考え行動する生徒の育成
—さまざまなメディアを活用し，主体的に学習する生徒の育成—

2 主題設定の理由

様々なメディアが存在する高度通信社会では，TV 放送，新聞，インターネット等を取り入れて，知識の定着を図る教育活動が求められている。

平成22年度に坂出東部中学校で四国放送教育研究大会が開かれるので，本年度はTV番組を教材に活用した研究を積極的に実践することにした。NHKは，良質の教育用番組を放送しているが，学校現場での活用事例は多くない。そこで，特別活動と理科の授業で活用できる場面を想定し研究することにした。

また，これまで研究してきた ICT 機器や新聞等の効果的な活用法についても継続して研究すると共に，総務省や香川県が支援している[e・ネットキャラバン]等の出前講座の活用にも取り組んだ。

3 研究の概要

(1) 研究の経過

月／日	会の名称	内容	会場
5月 2日	部長・理事一斉研修会	研究主題，研究組織，行事計画の立案	観音寺中
5月30日	理事・主任研修会	香中研究大会について	詫間中
8月19日	夏季研修会(兼 香中研)		坂・東部中
2月	理事・主任研修会	本年度の反省と次年度構想，研究のまとめ	詫間中

(2) 研究の内容

① TV番組の教科指導における活用事例（理科）

理科の授業では，学校の設備や時間の制約で，観察・実験を行うことが困難な場合がある。そこで，基本的な原理に迫る観察・実験などがハイビジョン撮影で美しい映像によって構成されていて，10分間にまとめられたコンパクトな番組「10min ボックス」（NHK）を活用した。

2学年の2分野「動物の世界」の授業は，血液の流れや働きをモデル化・アニメ化して提示していた。血液の流れやはたらきは教室では再現できないので，生徒の理解に大いに役立った。また，



NHKスペシャル「生命～40億年はるかな旅～」も活用した。地球上で起こった進化と絶滅の40億年という生命の営みを分かりやすく映像化したもので、生徒は興味を持って見ていた。さらに、番組とホームページのクリップを組み合わせて利用することも可能で、単元全体の理解を深め発展的な学習もできる。W中学校では下記の単元の授業で活用した。

学年	分野	大単元	小単元	NHKデジタル教材
1年	1分野	身のまわりの現象	光と音	光の反射・屈折
				凸レンズの働き
	2分野	大地の変化	火山と地震	火山・噴出物の形状とマグマ
2年	2分野	動物の世界	動物の体のつくりと働き	消化や呼吸，血液の循環のしくみ
3年	1分野	科学技術と人間	エネルギー資源	エネルギーの利用
			科学技術と人間	科学技術の利用と発展
	2分野	生物の細胞とふえ方	生物と細胞	細胞の分裂と生物の成長
			生物の増え方	有性生殖と無性生殖
		地球と宇宙	天体の動きと地球の自転・公転	天体の日周運動と地球の自転
	太陽系と惑星		天体の動きの変化と地球の公転	
		自然と人間	自然と人間	自然と人間のかかわり

② TV番組の教科外（総合学習）授業における活用事例

キャリア教育は、好ましい勤労観や職業観の育成がテーマである。そこで、W中学校では二年生が事業所で3日間職場体験する事前学習として位置づけ、さまざまなジャンルの職業を紹介していて、特徴や魅力を知らせるガイダンス的な番組である「明日をつかめ 平成仕事図鑑」（NHK）を活用した。

実際の職場の具体的な中身や舞台裏などを見る機会はそう多くないが、働く現場をVTR取材しながら詳しく見せているので、現場で感じている働きがいや尊敬する先輩との関わりも取り上げていて、仕事の醍醐味や奥深さも描き出している。生徒は、体験できる事業所が無い場合でも擬似的に知ることができ、さまざまな情報を得たので職業や産業に対する理解の深化が図れ、職場体験学習への意欲も高まった。次の表は、W中学校の職場体験学習の計画表である。

時数	学習課題	学習内容
1	オリエンテーション	○職場体験学習とは...?
2	自分にあった職業を知ろう	○パスカル（適性検査）の見直し ○職業の分類
3	職業アンケート	○「あなたの就きたい職業・興味のある仕事は？」
4・5	ビデオ学習	○知りたい職業のビデオを視聴する
6	事業所の紹介	○体験できる事業所を知る
7	個人面談	○体験希望の職種について、個別に面談
8	マナー講座	○講演とロールプレイ
9・10	電話での体験依頼	○電話で事業所へ体験学習の依頼
1 1	履歴書の作成	○自分の履歴書を書こう
1 2	事業所での事前打ち合わせ	○事業所への道順・準備物や仕事内容、心構え等
13～15	職場体験学習	○職場で実際仕事をしてみよう
1 6	職場体験学習の反省	○職場体験学習の感想と反省をしよう
1 7	礼状の作成	○体験させてもらった事業所へ礼状を送ろう

③ インターネットで配信されている動画の活用事例（理科）

化学変化とエネルギー（3年）の授業で活用した。燃料電池のしくみを題材に、燃料電池自動車についてネット配信の動画を視聴した後、電気分解装置を使って簡易燃料電池を作成し電子オルゴールが鳴ることを確認する授業を実施した。そして、動力がモーターであること、燃料に水素を使っていること、排気ガスとして二酸化炭素は発生せず水ができることを見つけて燃料電池のしくみを予想した。



④ DVD教材を活用した実践事例（英語）

教科書の内容をドラマ化したDVDを授業で活用した。動画のみ、英語の字幕付き、日本語の字幕付き等の様々なパターンが選択でき、動画と英語の会話と日本語の字幕のパターン表現を知覚するだけでなく、状況を含めた場面設定なども瞬時に把握することができるのでリーディング力の向上に非常に効果的であった。



⑤ 無料ソフトウェアを活用した実践事例（英語）

リードプリーズ（無料ソフトウェア）を活用した発音練習に適しており、速度の変化や声質の変化などを行いながら、リーディングの練習を行うことも可能である。

⑥ 保護者啓発に活用した事例（情報モラル・セキュリティー学習）

サンポートにある e-とぴあ・かがわ（情報通信交流館）では、総務省や香川県の支援により「e・ネットキャラバン—子供たちのネット利用の安全のために—」の講座を「保護者・教職員」を対象に開催している。M中学校では、今年もこの講座を開催した。生徒間のトラブルの原因が、ブログ等への書き込みであるケースが増え、問題になっていた時の開催であった。



インターネットを通じた犯罪に関する情報や、ウィルス、迷惑メール、架空請求詐欺等の実態やその対処法についての講演が行われた。PTA役員や職員を交えて80名程度の参加があり、配布されたテキストの資料やプレゼン映写を交えた講演で、よりタイムリーな事犯の具体的な説明があった。細かくメモをとったり携帯電話のフィルタリングについてより詳しい説明を求めたりする参加者が見られた。保護者啓発は、トラブル防止にも役立ち、生徒の情報モラルの向上も期待できる。

⑦ その他の活用事例

この他にも、ワードなどのソフトウェアを利用して教科書の本文を提示し、チャンクごとに色分けをしながら文章の構成を提示すれば、視覚的に分かりやすく生徒が学習内容を理解するのを助けることができる。また、ウィンドウを切り替えれば多種類の情報を提示できるので、黒板を用いた板書より多い情報を提示できる。

4 研究の成果と今後の課題

TV番組など授業での動画活用が浸透してきて、生徒が今まで以上に興味・関心を持って授業を受けるようになった。また、授業後のアンケートでも「動画があり、分かりやすい」「今まで知らなかった仕事の裏の部分も知ることができた」など、肯定的な感想を書く生徒が多かった。しかし、メディア教材を視聴しただけでは、生徒の知識の定着が不十分なので、定着を図るにはワークシートの活用が重要である。動画とワークシートをパックにした実践の蓄積が欠かせない。

各教科でICTを使っての授業実践は増えてきているが、まだまだ少ないのが現状である。職員1人1人のICT機器を授業の中で活用するスキルをアップできる研修環境づくりが重要である。さらに、教室のインターネット常時接続環境を整えば、瞬時に教科書+αの内容を提示することができるので授業展開上なくてはならないものとなっている。今後も授業実践を積み重ねていきたい。